

Windows XP(Professional,Home Edition)/機能を使って直接 MR104DV と接続するための設定方法です。
Windows2000(Professional,Server)の設定も同様です。

接続例

東京のネットワーク(192.168.100.0/24)と大阪の PC(WindowsXP) と Windows の IPsec 機能を利用して接続します。

**注意：Windows2000/XP の IPsec 機能は、アグレッシブモードをサポートしていないため、
双方固定 IP アドレスの接続になります。**

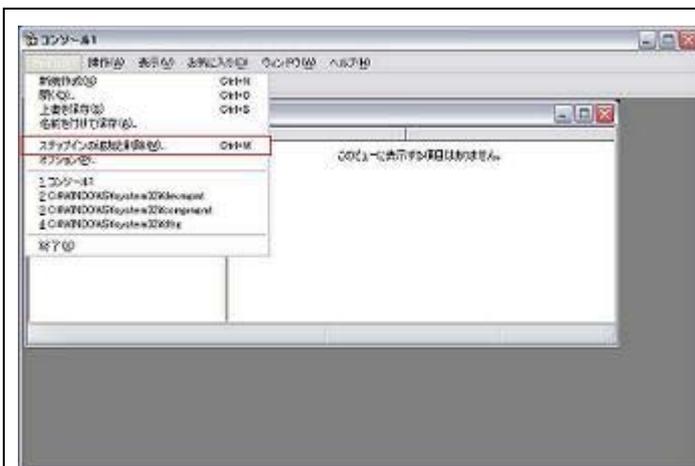


Windows の設定

下記の設定は、Windows XP が MR104DV LAN 側の特定のクライアント 1 台に接続する場合があります。
サブネットを指定することも可能です。

- ・ [スタート]-[ファイル名を指定して実行]-[mmc]と入力して[OK]をクリックしてください。

	<p>VPN ポリシーの作成</p> <p>「ファイル」をクリックします。</p>
---	---



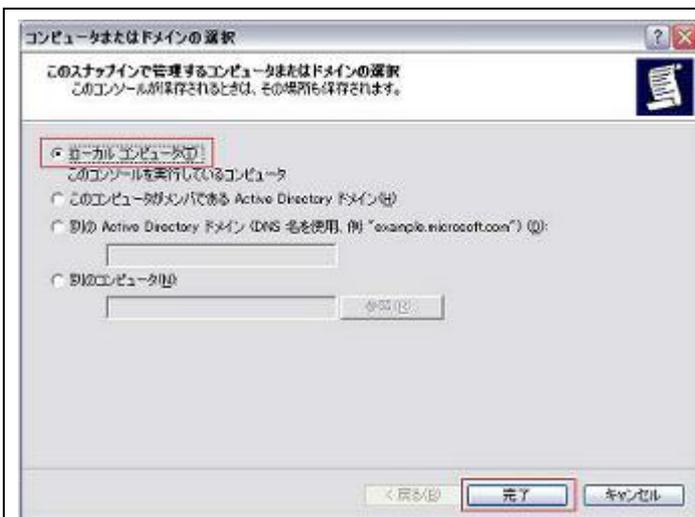
「スナップインの追加と削除」をクリックします。



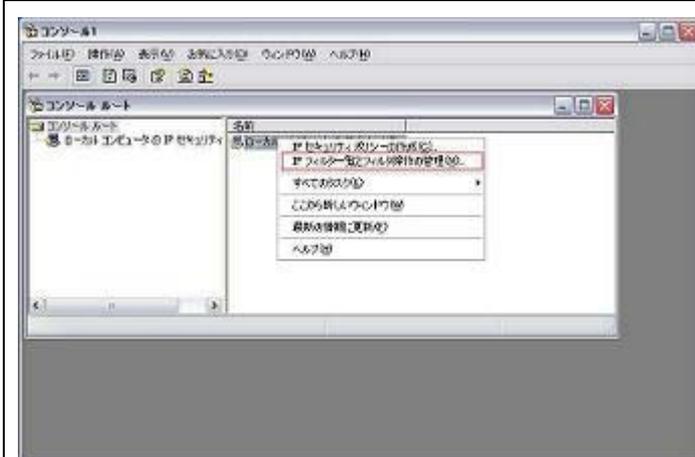
「追加」をクリックします。



「IP セキュリティポリシーの管理」を選択し、「追加」をクリックします。

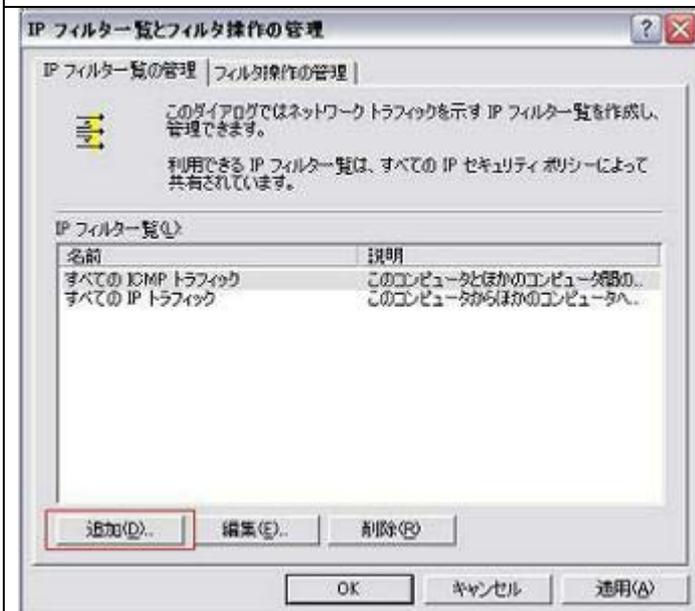


「ローカルコンピュータ」にチェックし、「完了」をクリックします。

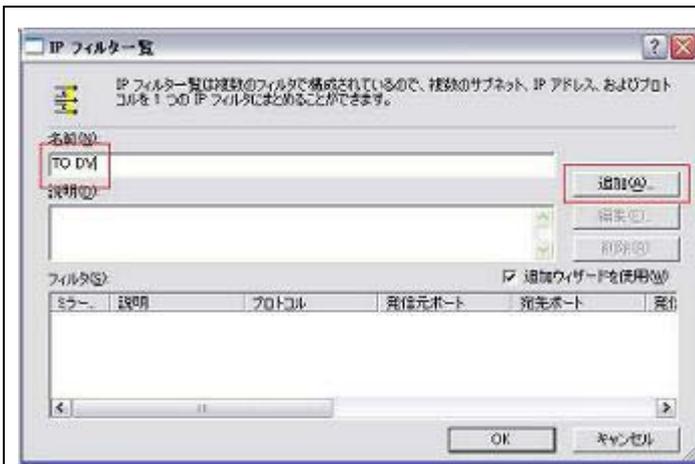


VPN ポリシーの設定

「ローカルコンピュータのセキュリティ」を右クリックし、ショートカットメニューから「IP フィルター一覧とフィルタ操作の管理」をクリックします。

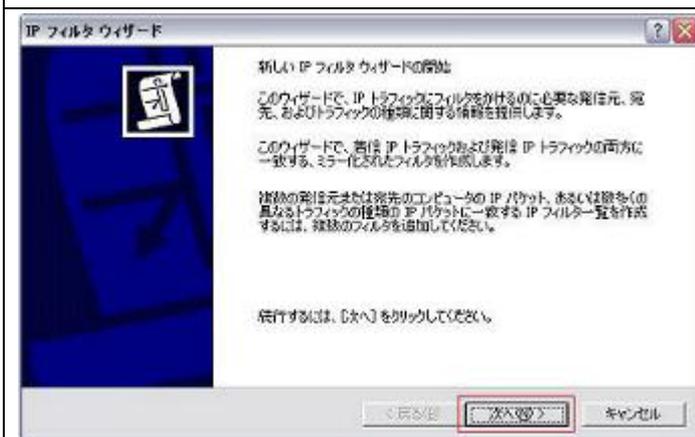


「追加」をクリックします。



XP から DV への SA ポリシーを作成

「名前」欄に「T0 DV」を入力し、「追加」をクリックします。



「次へ」をクリックします。



「発信元アドレス」を「このコンピュータの IP アドレス」とし、「次へ」をクリック

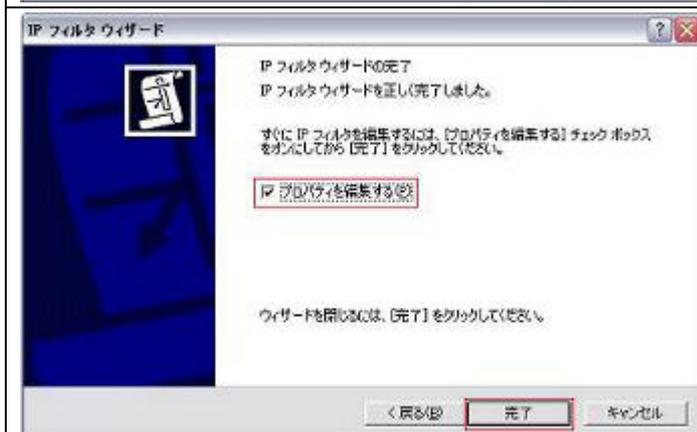


「宛先アドレス」を「特定の IP アドレス」とし、「IP アドレス」を「192.168.2.2」とし、「次へ」をクリックします。

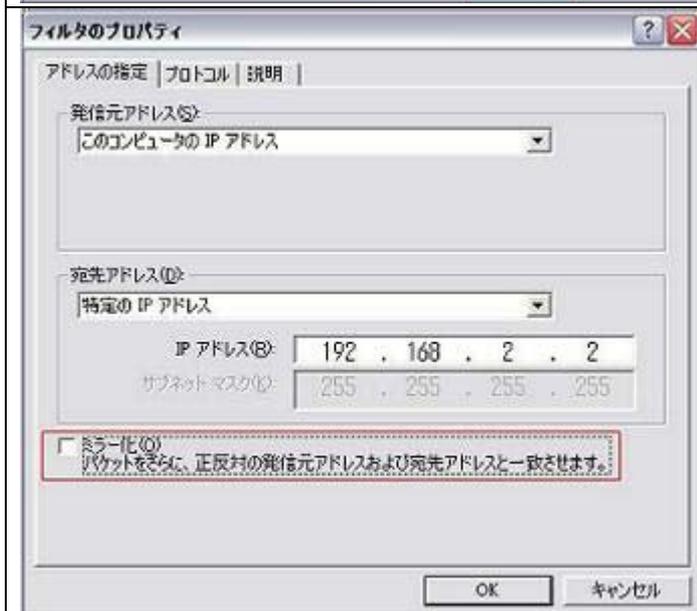
DV の LAN 側クライアントの IP アドレス 接続したい PC を特定しない場合は「特定の IP サブネット」を選択します。



「プロトコルの種類の選択」を「任意」とし、「次へ」をクリックします。



「プロパティを編集する」にチェックを入れ、「完了」をクリックします。



「ミラー化」のチェックをはずし、「OK」をクリックします。

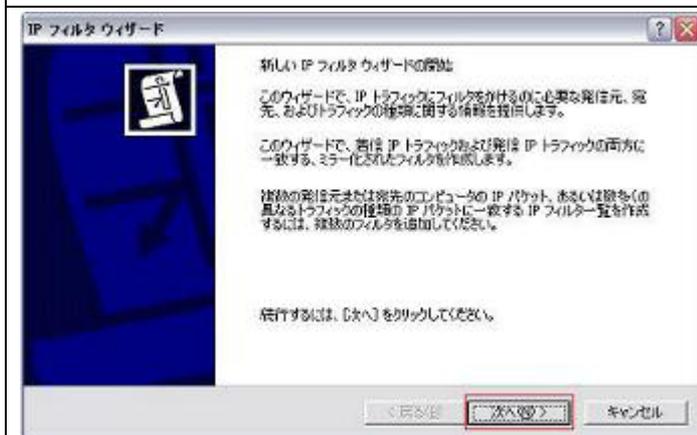


「IP フィルター一覧」に「TO DV」が表示され、「追加」をクリックします。



DV から XP への SA ポリシーを作成

「名前」欄に「TO XP」を入力し、「追加」をクリックします。



「次へ」をクリックします。



「発信元アドレス」を「特定の IP アドレス」とし、「IP アドレス」を「192.168.2.2」とし、「次へ」をクリックします。

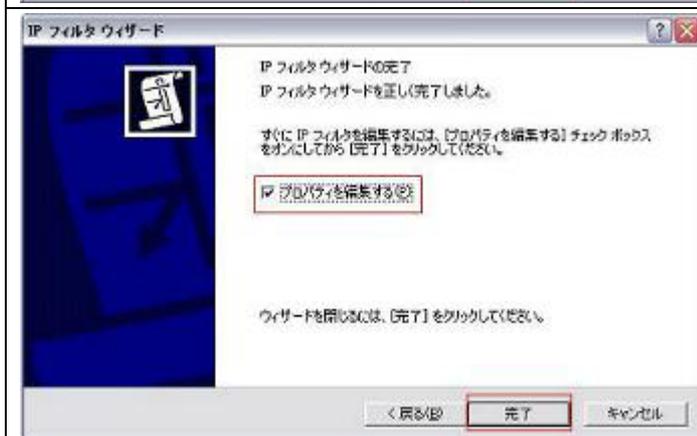
DV の LAN 側クライアントの IP アドレス接続したい PC を特定しない場合は「特定の IP サブネット」を選択します。



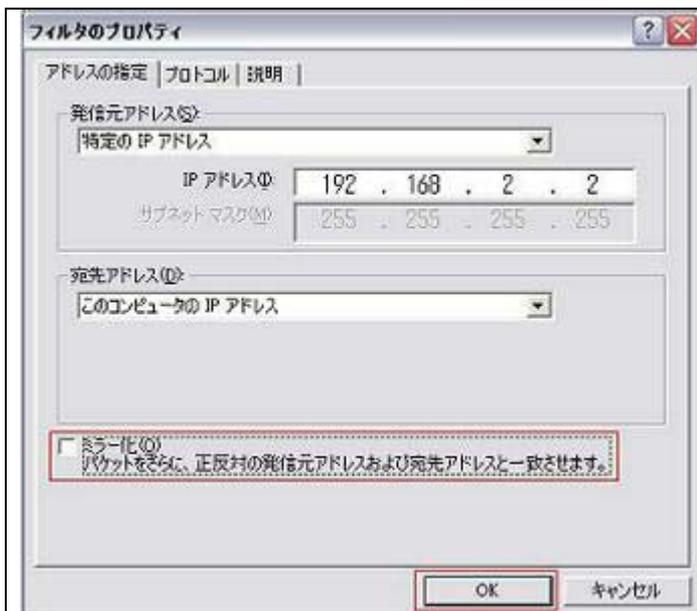
「宛先アドレス」を「このコンピュータの IP アドレス」とし、「次へ」をクリックします。



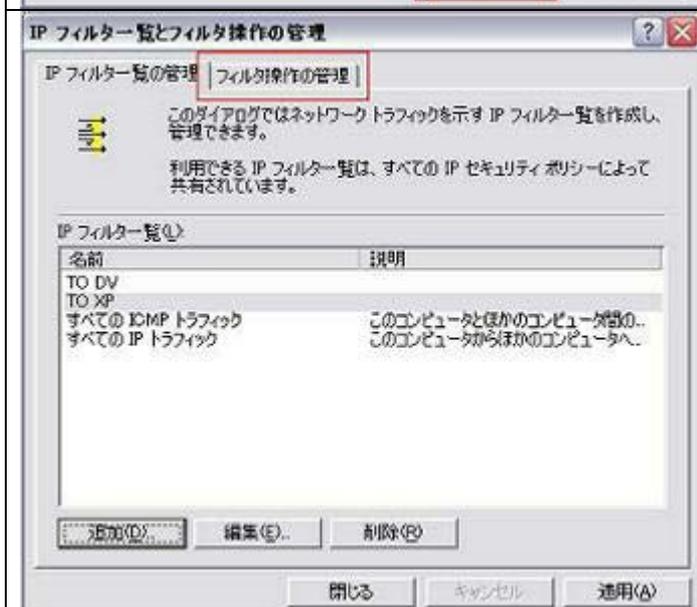
「プロトコルの種類の選択」を「任意」とし、「次へ」をクリックします。



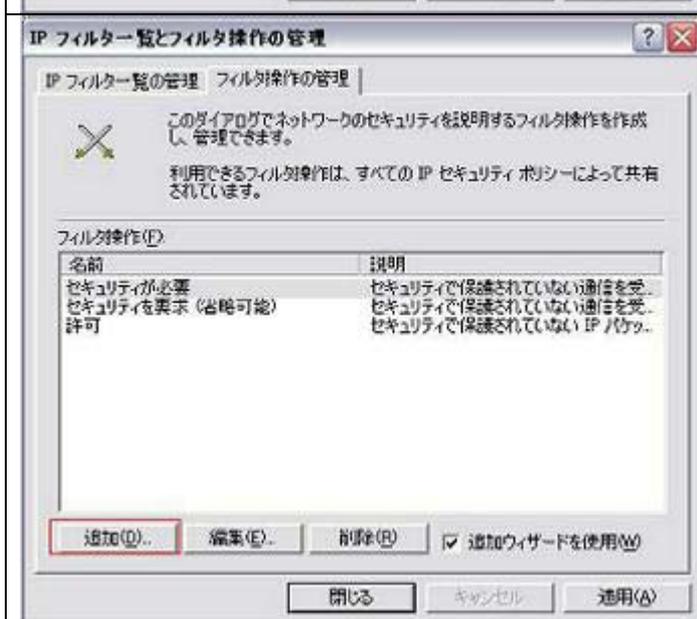
「プロパティを編集する」にチェックを入れ、「完了」をクリックします。



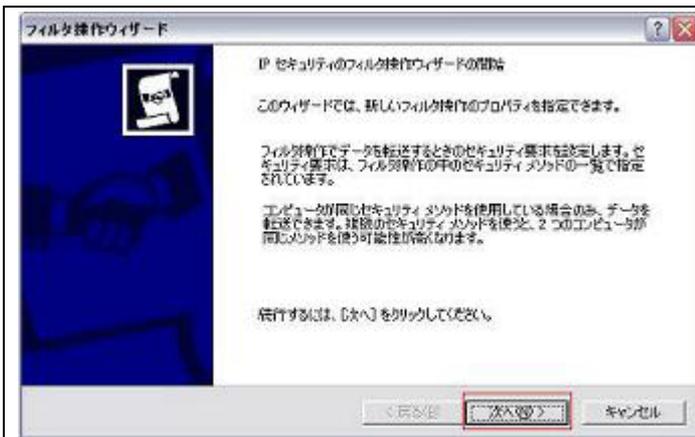
「ミラー化」のチェックをはずし、「OK」をクリックします。



「IP フィルター一覧」に「TO DV」と「TO XP」が表示され、「フィルタ操作の管理」タブをクリックします。



「追加」をクリックします。



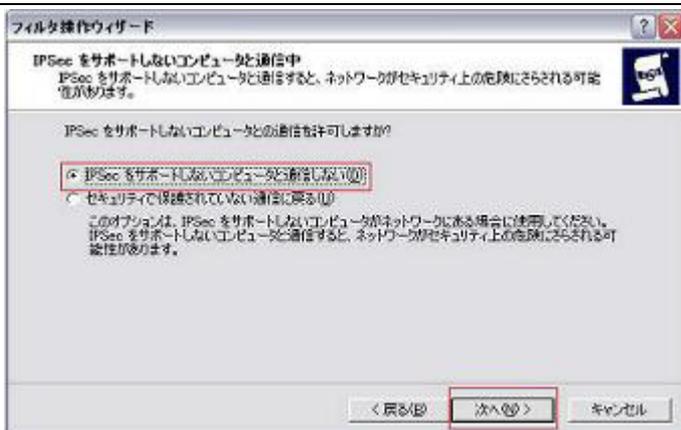
「次へ」をクリックします。



「名前」欄に「XP TO DV」と入力します。



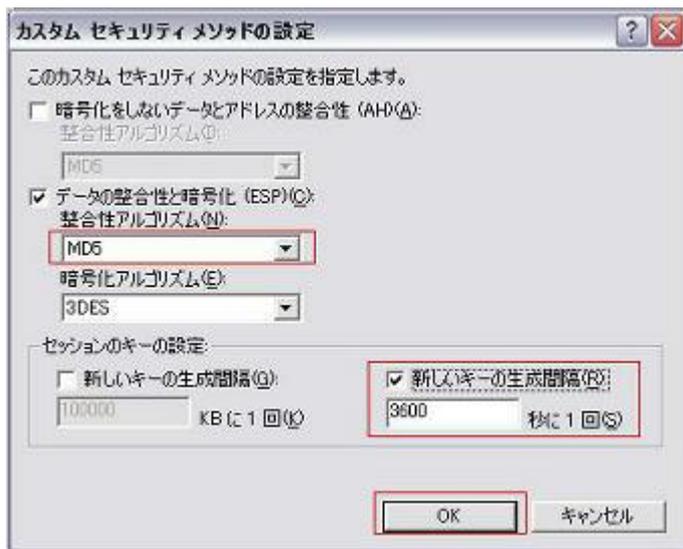
「セキュリティのネゴシエート」にチェックを入れます。



「IPsec をサポートしないコンピュータと通信しない」にチェックし、「次へ」をクリックします。



「カスタム」にチェックを入れ「設定」をクリックします。



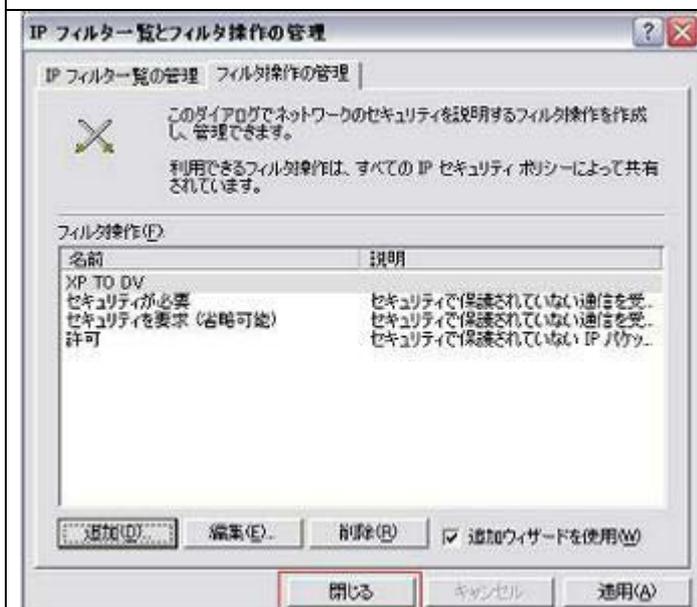
「整合性アルゴリズム」を「MD5」とする「新しいキーの生成間隔」にチェックします。暗号化アルゴリズムは、「3DES」としていますがMR104DV の設定とあわせてください。



「プロパティを編集する」にチェックし、「完了」をクリックします。



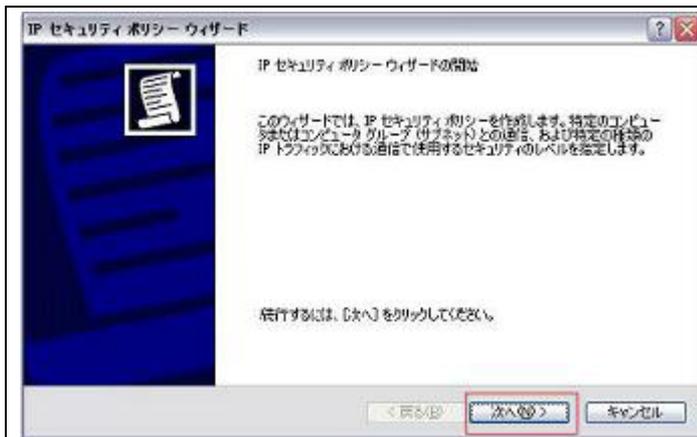
「セッションキーの PFS」にチェックし、「OK」をクリックします。



「閉じる」をクリックします。



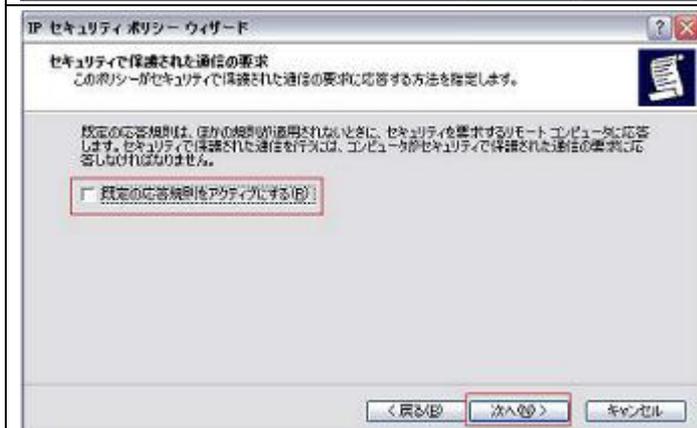
「ローカルコンピュータのセキュリティ」を右クリックし、ショートカットメニューから「IP セキュリティポリシーの作成」をクリックします。



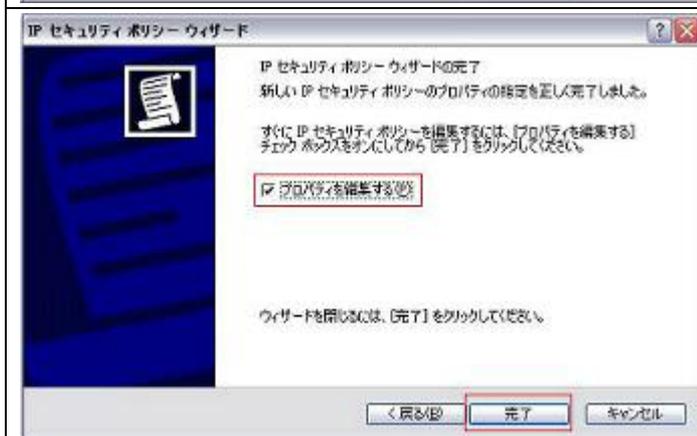
「次へ」をクリックします。



「名前」欄に「VPN XP TO DV」と入力し、「追加」をクリックします。



「規定の応答規則をアクティブにする」のチェックをはずし、「次へ」をクリックします。



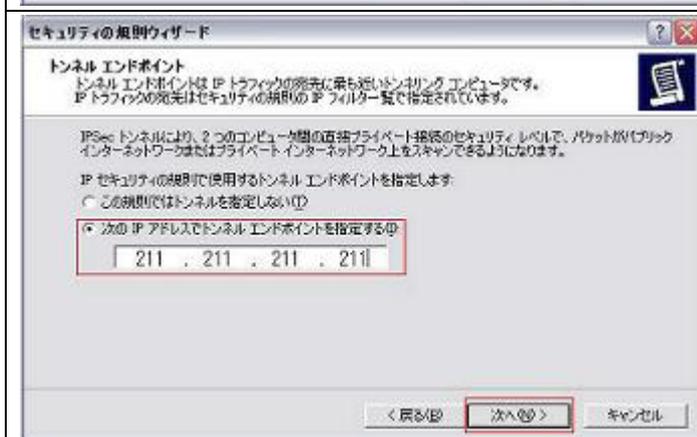
「プロパティを編集する」にチェックし、「完了」をクリックします。



「追加」をクリックします。



「次へ」をクリックします。



「次の IP アドレスでトンネルエンドポイントを指定する」に、DV の WAN 側 IP アドレスを指定し、「次へ」をクリックします。



「すべてのネットワーク接続」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

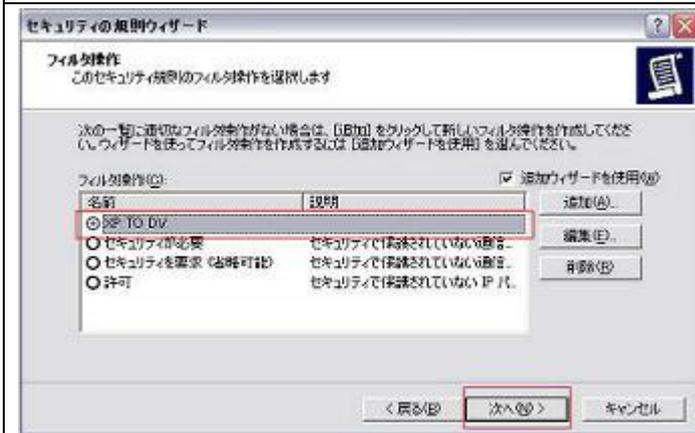


「次の文字列をキー交換 (事前共有キー) の保護に使う」に「123」と入れ、「次へ」をクリックします。

DV の仮共有キーに相当



「TO DV」にチェックし、「次へ」をクリックします。



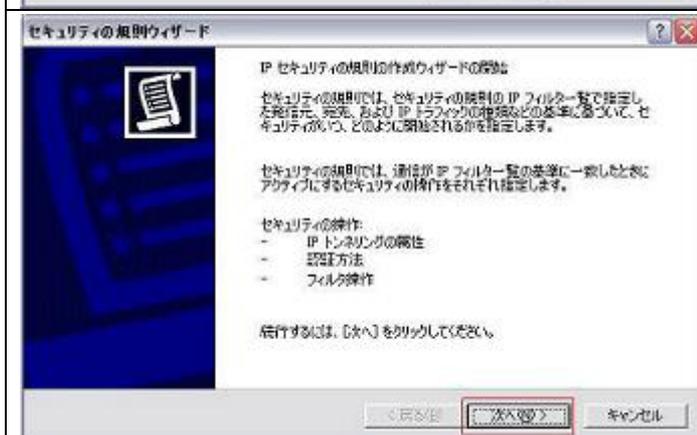
「XP TO DV」にチェックし、「次へ」をクリックします。



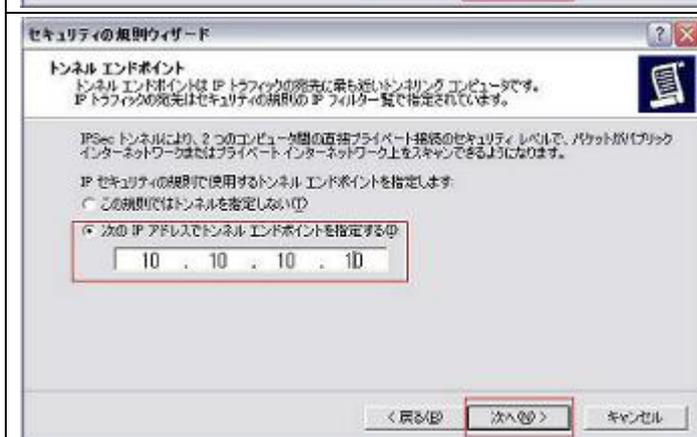
「プロパティを編集する」のチェックをはずし、「完了」をクリックします。



「追加」をクリックします。



「次へ」をクリックします。



「次の IP アドレスでトンネルエンドポイントを指定する」に、XP の固定グローバル IP アドレスを指定し、「次へ」をクリックします。

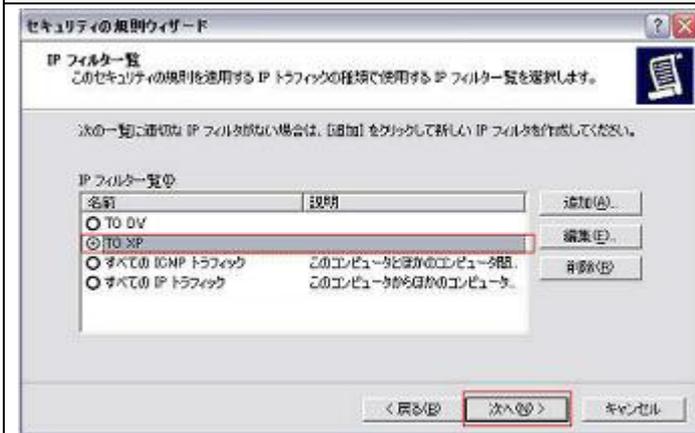


「すべてのネットワーク接続」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



「次の文字列をキー交換(事前共有キー)の保護に使う」に「123」と入れ、「次へ」をクリックします。

DV の仮共有キーに相当



「TO XP」にチェックし、「次へ」をクリックします。



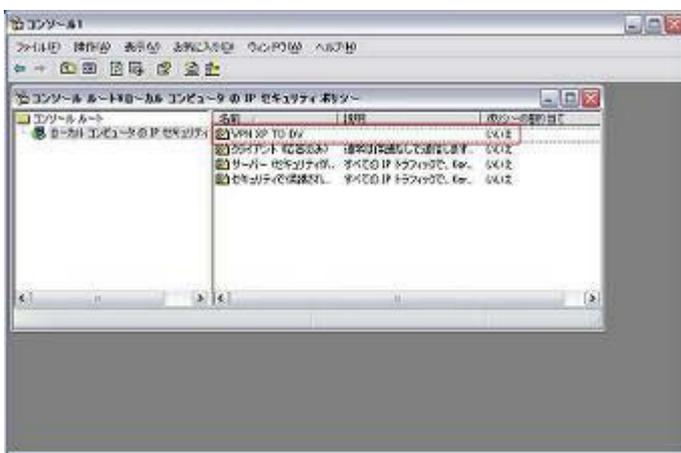
「XP TO DV」にチェックし、「次へ」をクリックします。



「プロパティを編集する」のチェックをはずし、「完了」をクリックします。



「閉じる」をクリックします。



「VPN XP TO DV」を右クリックします。



ショートカットメニューから「割り当て」をクリックします。

MR104DV の設定

MR104DV の設定は「リモートゲートウェイアドレス」「リモート IP アドレス」に、Windows XP のグローバルアドレスを登録します。仮共有キーは、Windows 側で設定した「事前共有キー」と同じものを入力します。

VPN ポリシー定義

ポリシー名

リモートゲートウェイアドレス

動的

固定

ローカル IP アドレス

種類

開始IP アドレス

終了IP アドレス

サブネットマスク

リモート IP アドレス

種類

開始IP アドレス

終了IP アドレス

サブネットマスク

AH ハッシュ方式

アルゴリズム

ESP 暗号方式

アルゴリズム

ESP ハッシュ方式

アルゴリズム

手動キー交換

IKE (Internet Key Exchange)

方向

ローカル認証

IP アドレス

名称

リモート認証

IP アドレス

名称

整合

RSA 署名

仮共有キー

ハッシュアルゴリズム

暗号

交換モード

IKE SA 有効期間

(秒)

IPSec SA 有効期間

(秒)

DH グループ

IKE PFS

IPSec PFS